

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

西之表市
教育委員会

安城小学校2年／国語科

○ 家庭学習の基本的な考え方

【目標】

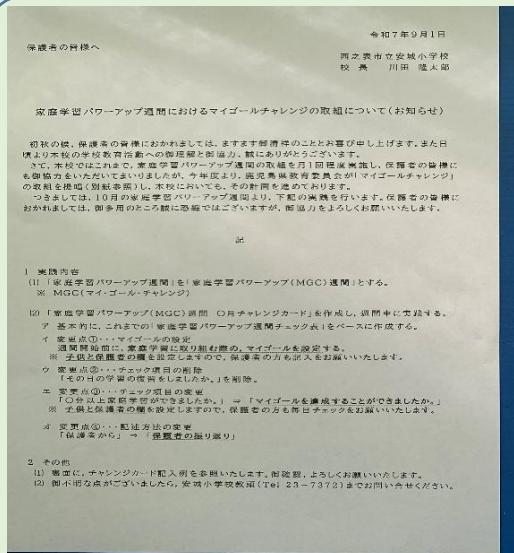
- ① 児童は、自分にとって必要な家庭学習の目標や内容、方法等を自分で決め、目標達成に向けて主体的に家庭学習に取り組む。
- ② 学校と家庭は、児童のチャレンジを促し、支援する。

【全校での取組】

★ 「家庭学習パワーアップ（MGC）週間」の設定

これまで実施してきた「家庭学習パワーアップ週間」（月1）の発展的な取組として継続

★ 「家庭学習パワーアップ（MGC）週間チャレンジカード」の作成 カードを活用したマイゴールの設定、チェック、振り返り



記入例 家庭学習パワーアップ（MGC）週間	
10月 チャレンジカード	
保護者の目標へ	令和7年9月1日 西之表市立安城小学校 校長 川田 隆人郎
自分の目標へ	1年 名前 あんじょう しょう
10月 チャレンジカード 自分のマイゴール 保護者のマイゴール お家の大人と一緒にチャレンジましょう！（できだ：〇 もう少し△ できなかつた：×） 10月 チェック表 1 お家の大人が、書かれた約束にはじめましたか。 2 お家の大人が、手帳やカレンダーを満し 空の上を おさらいにしましたか。 3 漢字を、おわらうことができましたか。 4 お家の大人に、漢字を 先せましたか。 5 漢字を、しましたか。 6 漢字を、もういくえんびつを けりりましたか。 7 次の日の 漢字を しましたか。 8 毎日の 学習習慣 9 自家の マイゴール 実現できましたか。 10 保護者の マイゴール を実現できましたか。	
自分の振り返り	成果や課題等の感想を書くばかりでなく、 「（〇）家庭学習パワーアップ週間（MGC週間）でできましたか。」「（△）家庭学習パワーアップ週間チャレンジカード」をベースに作成する。 また、このカードは、保護者も参考する「家庭学習パワーアップ週間チャレンジカード」をベースに作成する。 イニシアチブ（自己実現）の部分 達成開始時に、家庭学習に関する目標の設定をする。 正直に達成度の欄を設定せずそのまま記入をお願いいたします。 保護者用の学習用ノートの記入欄を削除。 実現度（△）：タスクの目標の達成度 「〇」家庭学習パワーアップ週間が達成できたか。→「△」家庭学習パワーアップ週間が達成できなかったか。 保護者の記録欄を削除するので、保護者の方用ノートを記入をお願いいたします。 ※ 变更点△：記録方法の変更 「保護者から」→「達成度の振り返り」
保護者の振り返り	保護者の目標へ
達成の先生から	達成の先生から

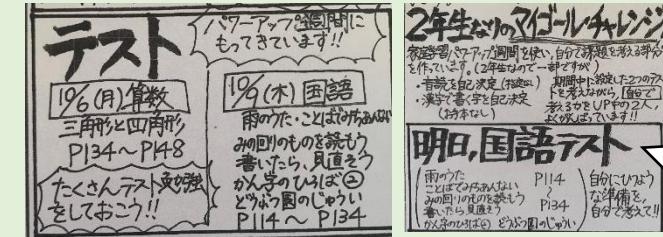
○ MGCの取組

【小学2年生 国語科のMGC】

単元テストで100点をとるために、テスト範囲内の学習を自己選択して取り組んだ家庭学習

★ ポイント

- ① 単元テストを家庭学習パワーアップ（MGC）週間に設定する。
- ② テスト範囲を事前に日報で知らせる。



③ マイゴールの設定

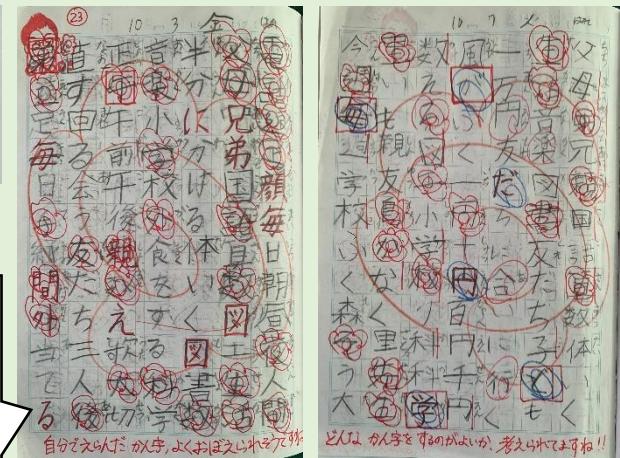
じぶん 自分の マイゴール	にが手ながん字をがんばる。
ほこしゃ 保護者の マイゴール	漢字の見届けをしっかりする。

④ 単元テスト実施日までに、音読や漢字等を自己選択して家庭学習に取り組む。

これまででは、担任の手本を見ながら漢字練習に取り組んでいたが、テスト勉強期間中から、自分に必要な漢字を自己選択して練習する取組を行った。

さらに、子供の取組に対する担任のコメント(価値付け)を記入し、子供の主体性を高める手立てとした。

日報を使って、子供ばかりでなく保護者にもパワーアップ週間の取組やテスト範囲を告知し、声掛けや見守り等の協力を呼び掛けた。



⑤ 振り返り

じぶん 自分の 振り返り	テストで100点、これたので、次も100点、これるようになりたいしゃうある。
ほこしゃ 保護者の 振り返り	毎日、ていねいに書いて、テストでも何回も見ながらして、100点かとれました。やんぱったね。

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

中種子町
教育委員会

油久小学校・星原小学校

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ☆ 家庭学習は、学習したことを定着するために必要な学習であり、そのためには習慣化することが大切である。
- ☆ 家庭学習の目安を基に自分で時間や内容、取組方について考える。
- ☆ 家庭学習では、その日の学習の振り返りを行うとともに、自分でやってみたい、調べてみたい内容等について取り組む。

【家庭学習の実践例】

- 苦手にしている漢字について、今学習しているもの、これまで学習したものなど、どの漢字を練習したらよいか自分で考え練習している。
- その日に学んだ内容について自分が振り返りたい内容を決め、まとめている。
- 保護者に確認してもらっている。

家庭学習のすすめ

中種子町立油久小学校

保護者の皆様へ

基礎学力（読み、書き、計算）をはじめ、将来の社会生活を豊富で大切な基礎知識や技術、態度、考え方などをより身に付けるためには、学校での授業はもとより、家庭における学習がとても大切です。そこで、学校では、家庭学習について次のようによびます。全学年で取り組んでいきます。家庭での学習が有意義になるように、各学年の手引きを参考にして家庭学習に取り組ませてください。

【ねらい】

- 自主的に学ぶ態度を身に付ける。
- 基礎学力をしっかりと身に付ける。
- やるべきことを最後までやり遂げる力を身に付ける。

【主な内容】

学年	1	2	3	4	5	6
低学年						
中高学年						
高学年						
○ 家庭学習の習慣化を図る。						
○ 指導をきちんと行う。						
○ テストの勉強をしっかりこなす。						
○ 自分で学習用品等を自分でそろえる。						
時間	30分	40分	50分	60分	70分	80分

※ 学級別時間は、ざっくりの目安（課題数に応じてほしい時間）です。個人差はあると思いますが、家庭での学習時間は自己に適宜調整させてください。

「家庭学習の手引き」(油久小)

教科書音読

○ 読書

◎ 国語・・・吉文の意味調べ 社会・理科・アーネストや教科書のまとめを書く 算数・・・ノートや教科書のまとめを書く、計算の復習をする どれかを選んで書く。

武士の始まりにはいくつあります。農村でも自分の領地×富を守るために武器をと、人々からいた一方、もともとは自分の地位貴族なりで武芸を武器として翻弄して身分の高い仕事も自分なりでやっていた人々もいました。武士はやがて、おじいの反対する弘の様が無いの中でも努力をこなし、その後100年ほど早く武士の世の中が生まれました。

◎ 新しく習っている漢字を書きましょう。下記

観	砂	腹	階	並	降	記	流	異
かん	さな	はら	かい	なみ	こう	き	りゅう	こと
見	ひ	腹	ひ	べ	る	め	い	ゆ
福	ふく	腹	はら	る	降	る	流	りゅう

家庭学習の実際(油久小6年)

○ MGCの取組

【星原小6年生 社会科のMGC】

長く続いた戦争が人々の生活に与えた影響について話し合う活動を深めるために、戦争の被害の実態を知る活動に取り組んだ家庭学習

単元名 第6学年 「長く続いた戦争と人々のくらし」

(1) 目標

沖縄戦、広島・長崎への原爆投下について調べたことを活用し、多くの人々が犠牲になり、日本が敗戦をむかえたことを理解することができる。

(2) 実際

過程	主な学習活動	時間(分)	指導上の留意点 (○評価)
見通す	<p>前時の終末</p> <p>○ 資料から、次時の課題を捉える。 戦争は、どれほどの被害を出し、どのようにして終わったのだろう。</p>		・ 玉音放送の資料を実際に聴かせることで、次時の課題を捉え、家庭での調べ学習に主体的に取り組めるようにする。
			家庭での調べ学習
学び合う	<p>○ 教え合い活動をする。 小グループに分かれ、調べてきた内容を教え合う。前半・後半で先生役・児童役を入れかえる。</p>	38 (13)	・ 教師は、小グループの生徒役として入り、児童がどんなことを調べ、どんなまとめ方をしてきたか確認する。



話し合う様子(星原小6年)

前時終末:次時の課題の確認

家庭での調べ学習

一単位時間の流れ
学び合う:教え合いと集団解決。社会的知識を活かした話し合い

振り返る:学習の振り返り

次時の課題の確認

見通す:次時の課題の確認

反転学習の流れ(星原小)



学級PTAの様子(星原小)

★ 「反転学習」に取り組み、家庭学習において、教科書や資料集、インターネットなどをを使って調べたことを、ノートやプレゼンテーションソフトでまとめた。

○ これまでの学習を生かして自分の考えをノートにまとめたりする学習を家庭学習ができるようになり、与えられる宿題から自主的に学ぶ家庭学習へと移行しつつある。

○ タブレットでまとめた家庭学習内容をオンラインで共有でき、当日欠席しても学びを深めることができた。

★ 教科及び単元の特性を捉え、反転学習を取り入れる計画を立てていく必要がある。

★ 学級PTAで保護者にMGCの説明をして、家庭で主体的に学べるよう協力を依頼した。児童が立てた夏休みの学習計画を親子で練り直した。

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

南種子町
教育委員会

島間小学校 3・4年



○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 南種子町小中一貫教育で共通実践している家庭学習習慣系統表を基本として、本校の学習のきまりを作成し、取り組んでいる。①
- ★ 自主学習（MGC）についての考え方や取り組む方法について、チラシや作成した手本を基に保護者と確認している。②
- ★ よい取組を通信で紹介すると共に、保護者への見届けや励ましの協力依頼をしている。

上記①に関わる資料

中学年
・ 40分以上、毎日家庭学習をする。
・ 学校からの宿題
・ 宿題（以下の内容）
*授業で学習したことの復習
*間違えた問題の復習
・ 国語・算数・理科・社会のプリント
・ 漢字ドリル
・ 計算ドリル
・ 音読
・ 読書
・ 日記や作文、詩や俳句
・ 意味調べ



上記②に関わる資料



○ MGCの取組

【小学4年生 理科のMGC】

学習内容の理解を深めるために、復習に取り組んだ家庭学習

★ポイント

自分が復習したい内容についての「めあて」を立ててから始める。

文章だけでなく、図にも表すことで、視覚的にもイメージができ、思考の見える化につながる。

「わがとも」（わかったこと、がんばったこと、友達の良かったこと、もっとがんばりたいこと）の視点で振り返り、今後の自己の学びに生かしている。



日付や教科だけでなく、取り組んだ時間まで書くことで、時間を意識して取り組むことができる。

取り組んだ自学を学級全員で見合い、それぞれの内容の良さや自分の参考になりすることを確認するようになっている。また、それに「○○賞」というコメントを入れて返却することで、更なる意欲向上につながっている。

(様式 1)

「家庭学習MGC」実践例

屋久島町
教育委員会

一湊小学校 3年

○ 家庭学習の基本的な考え方

★自分の気持ちや行動をコントロールする力を育むもの。

★学習内容の理解・定着を図るもの。

★家庭での学習を習慣付けるもの。

○家庭学習の手引き(一部抜粋)

2 どのように学習すればよいのでしょうか? (学習の方法について)

合い言葉は「け」「て」「ぶ」「れ」です。「け(計画)」→「て(テスト)」→「ぶ(分析)」「れ(練習)」のサイクルを基本として、毎日の学習に取り組むとよいです。理解や定着が不十分な学習内容を自分で把握し、練習することで力を高めることができます。

低学年の場合は、「めあて(学習することの確認する)」→「れんしゅう(実際にやってみる)」→「ふりかえり(得意なところとそうではないところを見付ける)」→「れんしゅう」得意なところを伸ばしたり、苦手なところを克服したりする」ところから始めるとよいでしょう。

○家庭学習のルーブリック(評価基準)

達成度	計画(やることを決める)	テスト(ためしてみる)	分析(やったことを振りかえる)	練習(くりかえしてみる)
★★★ チャレンジ名人	目標を意識して、やることを自分で決めて書いている	目標に向かって集中して、はじめて取り組んだ	できしたこと・できなかったこと・まちがい・よかったですを振り返し練習した	間違いや苦手をくり返し練習した
★★ がんばり中	目標はあるが、やることがあいまい	目標を少し意識して、ついでに取り組んだ	できたことやまちがいを少しだけ書けた	少しだけ練習した
★ スタートしたよ	目標もやることもはっきりしていない	なんとなく取り組んだだけで、目標を意識していない	結果だけ書いていい/まちがいを見ていらない	やりたいことをしている
○ まだこれから!	何も書いていない/やることが決まっていない	取り組んでいない	書いていない	練習をしなかった

※「『けてぶれ』宿題革命!」2019,学陽書房,葛原祥太

○ MGCの取組

【小学3年生 MGC】

自己調整力を付けるために、主体的に取り組んだ家庭学習

★ 取り組みの内容

- ① 生活ノート…「一週間の家庭学習の目標・計画」「日記」「一週間の家庭学習の振り返り」
- ② 家庭学習…必要があればB4サイズの方眼紙を配布

★ポイント

- ◎選択できること
- ◎習慣化できること

(1)一週間の家庭学習の目標と計画を立てる。
【生活ノート】

(2)計画を基に、毎日の家庭学習に取り組む。
【家庭学習】

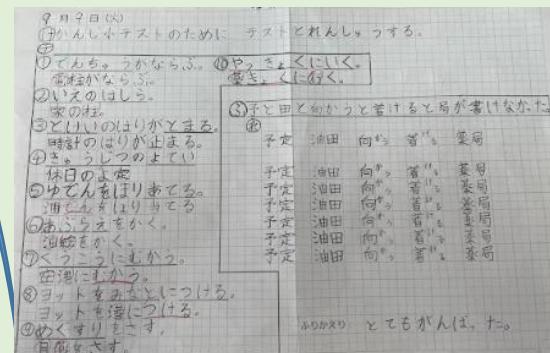
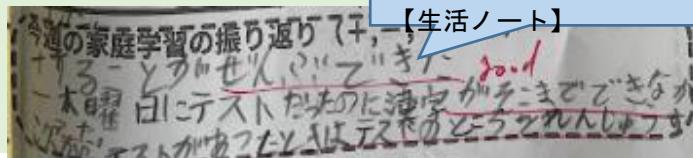
(1)週の計画を基に、その週の目標と計画を立てる。

③できた・できなかつたを振り返る。

④振り返りを基に、力をつけるために練習する。

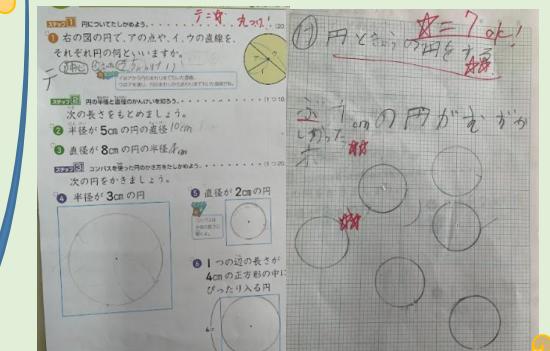
(2)目標を達成するために、自分の力を試してみる。

(3)一週間の振り返りを行う。
【生活ノート】



国語「漢字」

※毎週水曜日の国語の学習で実施している、漢字の小テストに向けた取組



算数「円と球」

※授業で練習が不十分だった児童の円の描き方の定着を図る取組

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

奄美市
教育委員会

屋仁小学校 3～6年

○ 家庭学習の基本的な考え方

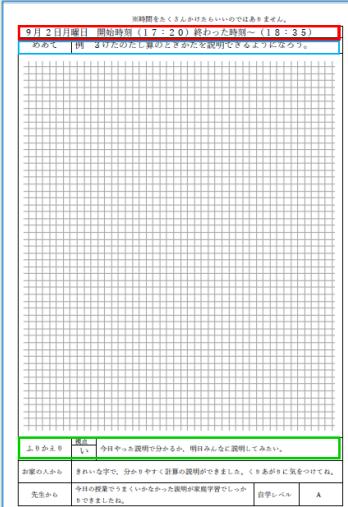
★ 児童が、自己の思いや願いを基に内容を決定します。

★ 児童と家庭学習について以下の約束をしています。

- 1 「日」、「日」、「開始時刻」、「終了時刻」を明記します。
- 2 内容は「今日系（復習）」「明日系（予習）」「できる・できない系」「好きなこと・興味があること系」から選択します。
- 3 「振り返り」を行い、保護者からコメントをもらいます。

★ 実施学年は3年生以上です。1・2年時は土台作りの期間と位置付けています。

★ 職員研修において、家庭学習の内容について資料で共通理解を図っています。



具体例を示し、職員で家庭学習の取組について共通理解を図っています。

○ MGCの取組

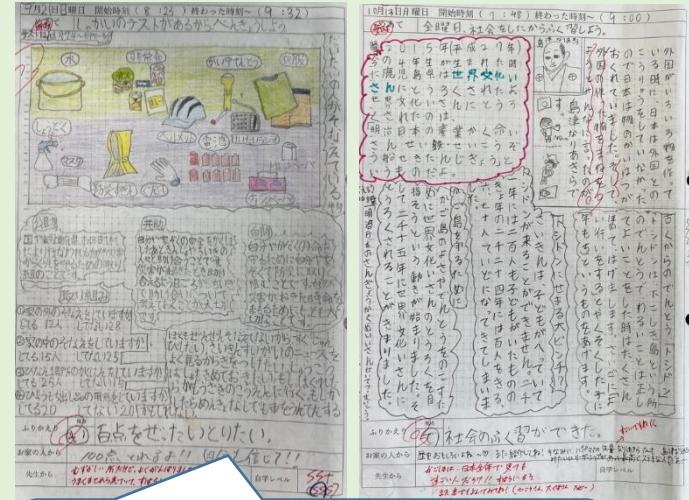
【小学3～6年生 屋仁小学校のMGC】

自己の課題を解決するために、主体的に取り組んだ家庭学習

★ ポイント

- 1 児童が、家庭学習の内容を決定しています。
- 2 保護者や担任からの価値付けを行っています。
- 3 参考となる家庭学習は、廊下等に掲示し、児童を価値付けたり、学ぶ意欲を高めたりしています。

【家庭学習の実際】



児童が、自分で取り組みたいことや、課題と感じていることの中から内容を決定して取り組んでいます。

★ 成果と課題

- 児童が、家庭学習の内容を決定することで、学習意欲が高まり、家庭学習の提出率が大幅に向上した。
- 職員研修で、家庭学習の内容について共通理解を図ることで、学校全体で6年間を見通した声掛けを行うことができるようになった。
- 児童によっては、学習分野の偏りが見られる。
- 学習内容に個人差が大きく、その子に合った支援等が必要である。

【掲示物の実際】



よりよい取組について学期毎に表彰を行い、児童の取組を価値付けています。

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

大和村
教育委員会

名音小学校 4年

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 計画内容は保護者説明用資料のとおり。
- ★ 保護者へは、家庭学習の意義を県配布資料を基に説明。
- ★ 月1回MGCについて職員で振り返る時間を設定。

名音小学校 家庭学習「マイゴールチャレンジ」
 子供たちが主体的に学びに取り組むことができるよう、家庭学習も自分なりのめあてをもって、計画的に進め、目標を達成することができるよう取り組んでいきます。
 家庭学習の習慣化と充実は、御家庭との連携なしには達成できません。子供の学びが確かなものになるよう確認と見届けをお願いします。

1 計画を立てる Plan

- ・ 帰りの会に時間を設定して、その日の家庭学習を考え、学習計画表に記入します。
- ・ その日の授業内容や自分のスケジュールなどを考えて、家庭学習を取り組むことを決めます。

2 家庭学習の内容 Do

<全学年共通>

- 音読…目的をもって選択できるようにします。
 (例えば、「国語の物語を心情を込めて読もう。」「すらすら読めるようにしたい。」「学習した社会の教科書の大好きな言葉を読もう。」など)
- ・ 国語は、家庭学習計画表の項目を全学年設けます。
- ・ 算数、社会、理科などの音読は、家庭学習計画表に項目を追加し、児童が自分で決めて行います。

<低学年>

- 家庭における学習習慣を身に付けさせることに重点を置き、学校が指示する課題にチャレンジさせていきます。
- プリントを児童に選択させたり、2年生は自学に取り組ませたりするなど、自己決定の場を徐々に増やしていきます。

<中学年>

- 日記 □ 漢字
- 選べるプリントから1枚もしくは自学

<高学年>

- 日記 □ 漢字 □ 自学
- 選べるプリント

3 確認・見届け Check

- ・ 学習計画表で計画通りにできたかを振り返ります。保護者のサイン欄にサインもお願いします。
- ・ 家庭学習「マイゴールチャレンジ」ファイルにやってきた課題を入れて提出します。

4 次の計画に生かす Action

※ やってこなかった分は、確実に済ませて帰すようにします。
 御理解と御協力の程よろしくお願いします。

<保護者説明用資料>

○ MGCの取組

【小学4年生 社会科のMGC】

鹿児島県の世界文化遺産を覚えるために、自学に取り組んだ家庭学習

<学習計画表で見通しと確認・見届け>

- ・ 家庭学習で取り組むことを考え、計画表に○を記入する。
- ・ 学習したら○に色を塗る。
- ・ 保護者サイン欄にサインをもらう。

<時間割に自学題材を掲載>

授業と連動した自学題材を時間割に掲載している。本実践では「世界自然遺産について」を選択して取り組んだ。

<めあてを立て調べる>

- ・ 授業で学んだ鹿児島県の世界文化遺産について学びを深め、覚えることができるようめあてを立てた。
- ・ 授業での学びを自分なりにまとめ直し、より記憶に残すために絵を描いたり、ポイントを記入したりした。

<まとめと振り返り>

- ・ 思ったことやもっと取り組んでみたいことを振り返り書く。
- ・ 担任の一言コメントで意欲を高める。

(9)月の学習計画表

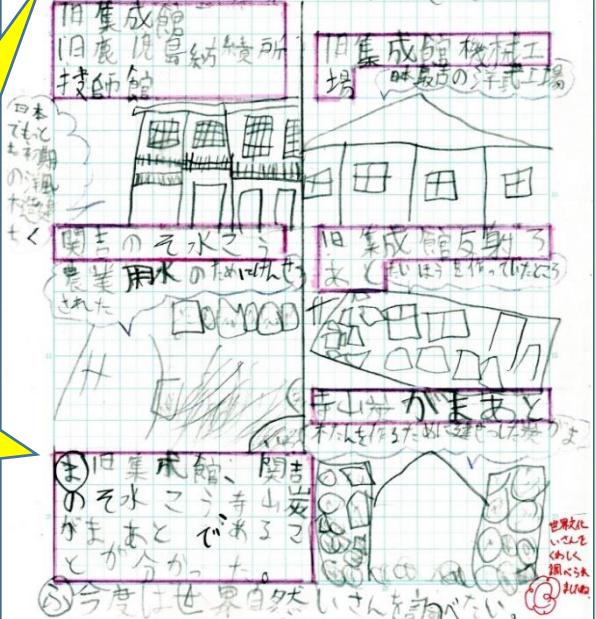
★ 1週間で5日分の計画を立てます。学習するものに○をつけましょう。
 ★ 自学をするかプリントをするか自分で選たくしましょう。
 ★ 学習や音読の内容を書きましょう。
 学習できたら色をぬり、お家の人にサインをもらいましょう。

日	自学の内容	音読の内容	漢字	日記	プリント	サイン
例	計算ドリル⑩	もしちゃんのかげおり	わり算	○	○	○
1	○(ときも)	○(圓形の名前)	○	○	○	○
2	○(ときも)	○(圓形の名前)	○	○	○	○
3	○(ときも)	○(圓形の名前)	○	○	○	○
4	○(圓形)	○(ときも)	○(圓形の名前)	○	○	○

自
国語…ローマ字(3年)ローマ字(4年),新しい漢字
学
社会…店ではたらく人(3年)防災について,世界文化遺産について(4年)
算数…あまりのあるわり算(3年)垂直・平行(4年)
理
科…こん虫について(3年)月や星について(4年)

④鹿児島県にはどんな世界文化遺産があるのだろうか。

明治日本の産業がく命いさく



(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

宇検村
教育委員会

名柄中学校 2年



○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 小中学校の全校取組「我が家家庭学習3か条」の実践化

- ① 余裕をもって勉強時間を確保する。（子供自身の課題）
- ② 正しい姿勢で学習しよう。（保護者が期待する子供への課題）
- ③ 字を丁寧に書く。（担任と話し合って定めた課題）

★ 中学校の重点取組～家庭学習の充実と教師の見守り

- ① 生活の記録…帰りの会で、その日の家庭学習の計画を立てる。
- ② 宿題…各教科から指示された課題に取り組む。
- ③ 宅習…自分で学習方法や内容を決めて取り組む。

★ 提出物を使った振り返りの活用～保護者・学校・子供の連携

- ① 毎日の振り返り…生活の記録

「家庭学習の記録」を使って、学校で立てた計画に沿って、実際に学習した内容や時間、達成度を記録する。

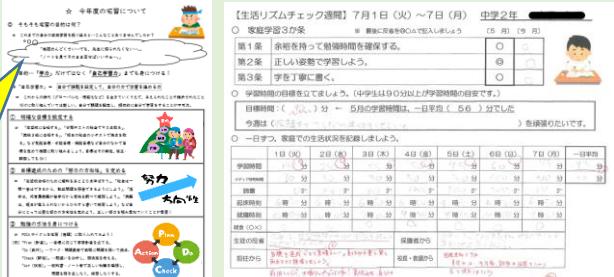
教師は、提出物を通して、本人の学習状況を確認し、適宜、担任や教科担当が助言する。

- ② 2ヶ月ごとの振り返り…生活リズムチェック表

全校取組である「生活リズムチェック表」を使って、「我が家家庭学習3か条」の達成度や実際の学習状況を家庭で話し合うことで、家庭学習の取組や学習環境の見直しを行う。家庭での振り返りは、担任と学習係の教員、管理職が共有し、コメントを通して、本人と家庭にフィードバックする。



オリエンテーション(生徒)
とPTA(保護者)で説明



○ MGCの取組

【中学2年生 表現活動（社会科、国語科）における発表のMGC】

より分かりやすく、魅力的に伝える発表にするため、情報収集や資料作成の工夫に取り組んだ家庭学習

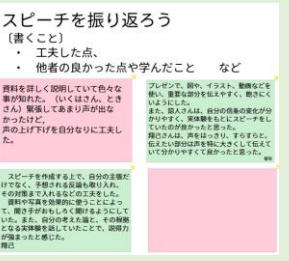
★ポイント

- 1 社会科…教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「パフォーマンス課題」にまとめる。



各単元の導入時に、進め方と発表までの流れを理解し、授業での学びを生かしながら、自分の考えに沿ったパフォーマンス課題を作成する。

- 2 国語科…資料を示してプレゼンテーションにまとめ、授業参観で発表する。



授業では、「山村留学」の視点から、宇検村を活性化するテーマで、資料を整理しながら、構成をまとめた。

学校ではネット利用に制限があるため、家庭で学習支援アプリを利活用し、資料を練り上げた。

授業と家庭学習の成果を、授業参観で保護者にも披露し、みんなで振り返りをすることで、自分の学習の過程と発表内容に、大きな達成感を得ることができた。

「家庭学習MGC」実践例

瀬戸内町
教育委員会

伊予茂小学校
3・4年

○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 「宿題があるから学習に取り組む」のではなく、「家庭でも当たり前のように学習に取り組む」ことができるよう、将来を見据えた家庭での学習習慣の定着を目指して取り組んでいる。

★ 決められた課題を与えるような受動的なものではなく、子供自身が自分の現状を見つめ直し、自分に必要な力や学習を考えて自ら課題を選択することで、意欲的に学習に取り組めるようにしている。

★ 年度初めの学級PTAで保護者にも家庭学習の主旨や方向性を説明して学校と家庭が連携しながら一体となって取り組んでいくことで、家庭学習の習慣化と効率化を図っている。

年度初めの学級PTAで配布した家庭学習の方針を示した資料の一部抜粋
※方針・内容・学習時間などを記載してある。

日々の家庭学習の内容を自分で選択する際に使用している「1日の振り返りシート」
※スプレッドシートで作成し、児童が1人1台端末で入力する。

～年度の家庭学習の方針について～

①自分で考えて学習に取り組むことができることを目指します。

これまで「宿題」として、「教師が子どもたちに課題を与える」という形で取り組ませてきました。今年度は、「自分に足りないものやいま必要なものは何か考えて学習に取り組んでほしい」、「家庭での学習に前向きに取り組んでほしい」という想いをこめて、最終的には自分で計画を立てて学習に取り組む形を目指していきます。漢字については、書かないと言えないので毎日1ページ取り組みます。それ以外の学習については、宅録ノート・プリント・ドリルバーク(タブレット)などを活用しながら、中学生の学習時間の目安である40分を目標に、子ども達が自分で家庭で取り組みたい学習を選択し、前向きに学習に取り組めるよう少しづつ練習をしていきたいと思います。



○ MGCの取組

【小学3・4年生 夏休みのMGC】

自分の苦手な学習内容を克服するために、自ら課題を選択して取り組んだ家庭学習

★ポイント

- 夏休みの課題というとどうしても「やらされている」というネガティブなイメージをもってしまいがちだが、「自分の苦手な学習を克服し、楽しい夏休みにしよう!」という具体的な目標の設定と、自ら学習課題の内容を選択させることで、少しでも意欲的に学習に取り組むことができるようになった。
- 1人1台端末を活用し、1人1人が自分の苦手な学習の分析と夏休みの具体的な目標、自分が取り組む課題の選択ができるようなスプレッドシートを準備した。
- 夏休み前の学級PTAの際に、夏休み中の家庭での学習について保護者に説明を行い、学校と家庭が一体となって取り組むことができるような体制づくりを行った。

実際に使用したスプレッドシート

夏休みの家庭学習に児童が見通しをもって取り組むことができるよう、目標を示します。

分析した結果を踏まえて夏休み中に取り組む学習課題(プリント)の内容を自分で選択します。

1学期の学習を振り返って、自分の課題となる学習内容を教科ごとに分析します。

目標	「苦手をこくふくし、楽しい夏休みにしよう！」					
苦手な学習	国語：物語を読むこと 算数：ぼうグラフ 社会：地図の問題 理科：風やゴムのはたらき					
夏休みに自分がとりくむかだい(プリント)をえらぼう！						
加那義	1	2	3	4	5	6
	漢字	ごそあど言葉	物語文	1学期のふくしゅう	たしざんとひきさん	ぼうグラフ
内田	7	8	9	10	11	12
	地図記号	公共しせつ	地図のりょう	こん虫	植物	風やゴムのはたらき

(様式①)

「家庭学習MGC」実践例

龍郷町
教育委員会

赤徳小学校

○ 家庭学習の基本的な考え方

【自走できる学習者へ】

自分で必要な学びを選び、自分で計画を立て、自らの学びをふり返り、調整しながら、学習できるようにする。

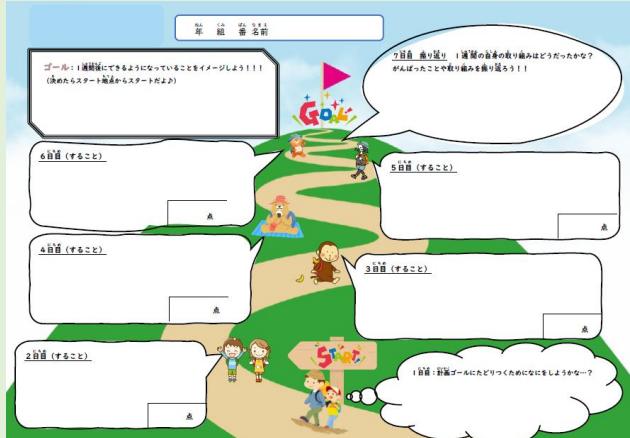
【確かな学力の育成】

基礎学力の定着を土台とし、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図ることで、児童の学力向上を目指す。

【学校と家庭の学びをつなぐ】

一人ひとりが自らの課題に主体的に向き合い、学校と家庭が連携して課題解決に向けた筋道を立て、学校内にとどまらず、家庭でも活用できる力を身につけさせる。

【資料一覧】



Plan & Do（計画と実行）

家庭学習計画表に学習計画を立てる。

- 授業や赤特訓で、必要と感じた課題や身に着けたい学力を設定し、1週間集中的に取り組む。

L. Review & Archive（見直し・保存）

振り返りシート（ロゴ）に記入する。

- 家庭での2週間の学習の様子（取り組みの成果と反省）を、振り返りシート（ロゴ）に記入する。
- ミニテストに向けて、自身の課題を抽出する。

L. Feedback & Correct（共有と修正）

学び方の学習・勉強の仕方について話し合う

- 「学び方の学習」（日記・漢字・学習等の宿題の取り組み方や上手な勉強方法）について話し合いや共有し合う時間を設け、次週（第3週）の赤特訓のミニテストに向けてのゴールイメージをつかむ。
- 進捗などを確認しながら、ミニテストに向けて調整を行う。

L. Preview（事前確認）

ミニテストに向けて反復練習や対策をする。

- ひとりで解き難いところや困っているところを担任に相談したり解説に向け追求したりする。
- テスト対策や反復練習等。

Check（評価） & Action（改善）

本番：キヨナを使ってミニテスト実施！

キヨナを活用してミニテストを行う。

ミニテストの結果を基に、1ヶ月の取り組みを振り返り

資料②→
赤徳「マイ☆スタ」プログラム

○ MGCの取組

【小学校 学びをつなぐMGC】

自走する学習者になるために、学びをつなげる家庭学習

☆自走する学習者とは

自分で現状を分析し、問い合わせを創り、計画を立て、調整しつつ粘り強く努力を続け、他者と協働しながら解決し、自らの学びをふり返りながら、次に生かすサイクルを自分で回す児童。

☆本校児童の課題

- 自分の課題が分からぬ（Check・分析）
- 解決への計画が立てられない（Plan・計画）
- 学び方が分からぬ（Do・方略）

☆赤徳「マイ☆スタ」プログラム（資料②）

「計画を立てること」、「学び方を学ぶこと」を学校で行い、家庭で「実践」、「計画の調整」、「振り返り」をする。

その後、学校で目標が達成できたかの評価をし、次の計画へつなげるサイクルを回す取組。

学校で 家庭で

小学1年生のマイ☆スタ

漠然とした課題からどこに焦点を当てたらよいか考えようとすることができている。

例：ひき算が苦手→立式で迷う→場面と式の対応付けが難しい→文章問題を読めるようになる。

教科にとどまらず、学習方略や他の勉強法等を共有することで、自分に合った学習方略の獲得や効率的に学習をすることへつながっている。

学習の見通しを持つことで、日々の取り組みに目的意識が生まれ、継続的な家庭学習につながっている。



○自分で立てた計画に沿って学習に取り組むことで、「やらされている」という感覚が薄れ、自ら学習に向かっているという実感や、自信を持てるようになってきている。

【保護者から】

- 一年生には少し早いかな？と思いましたが、苦手なことが分かったので目標を待って勉強するのもっとも良いことだなと思いました。
- 親子で一緒に計画を立て取り組みました。苦手なところをあらためて知る機会になりました。
- 決めたことは達成しましたがそれ以上の事には取り組まないので、もう少し目標を高く設定してもよかったです。

【学校評価から】

- 学校評価の項目「お子さんは家庭で進んで学習をしていますか。」については、R6年度1学期2、5、2学期2、7、R7年度1学期2、9とポイントが上がってきてている。
- 依然として低い現状があるが、自走へ向けた学び方や学習に取り組む態度を学校と家庭は連携して育んでいくける土台を築いていきたい。